



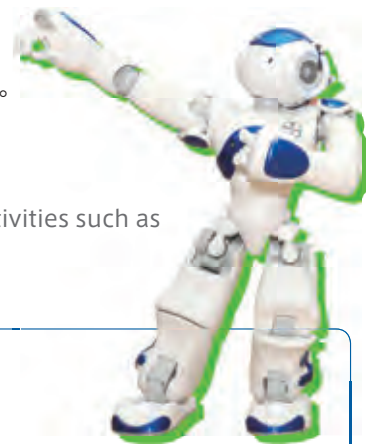
ヒューマノイドロボット「NAO」が登場!

ロボット起用で イノベーティブなイベントを実施

NAO the robot helps Bayer to highlight its spirit of innovation at events

今回の自立型ヒューマノイドロボット「NAO(ナオ)」の登場は、イノベーションを重視するバイエルが最先端ロボット技術をイベントに取り入れた初の試み。疾患啓発イベント「血栓症予防ラボ」や小学校を訪問する「わくわく実験びっくり箱」で、イベントの盛り上げに大きく貢献した。

Recently, Bayer in Japan has used the humanoid robot NAO to help live up outreach activities such as disease awareness events "Thrombosis Prevention Laboratory" and Making Science Make Sense school visits.



静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)啓発イベント 「血栓症予防ラボ」

Raising awareness about venous thromboembolism (economy class syndrome) in Tokyo

バイエル薬品は、昨年に制定された『世界血栓症デー』(毎年10月13日)の設立グローバルパートナーとして、エコノミークラス症候群として知られる静脈血栓塞栓症の理解・認知を広める目的で、2015年10月13日に東京駅構内八重洲中央コンコースにて、疾患啓発イベント「血栓症予防ラボ」を開催した。ロボットのいる近未来のラボをイメージしたブースでは、1日所長を務めた振付師のラッキィ池田さんが、「NAO」と一緒

に静脈血栓塞栓症予防につながるオリジナルエクササイズを会場の皆さんと行った。とかく固くとなえがちな疾患啓発イベントにおいても、愛らしい「NAO」の呼びかけや仕草に、小さな子どもからご年配の方まで多くの方が立ち止まって積極的に参加してくださり、たくさんのコミュニケーションをとることができた。



静脈血栓塞栓症について理解を深めるクイズラリーを実施。「NAO」が担当する答え合わせには行列が。



ラッキィ池田さん考案のオリジナルエクササイズ!
(エクササイズ動画 <http://www.kessensho.net/ja/home/movie/taisou.php>)



日本血栓止血学会理事長・尾崎由基男先生(写真・左)とバイエル薬品・早崎剛典氏(医学博士)による、静脈血栓塞栓症の発症リスクや予防についてのミニレクチャー!



静脈血栓塞栓症をわかりやすく解説したパネル展示に加え、小冊子も配布。

…自立型ヒューマノイドロボット「NAO」とは…

イベントキャラクターとして参加した「NAO」は、フランスのアルデバラン・ロボティクス社が開発した自立型ヒューマノイド(人型)ロボット。多くのセンサーとカメラ、マイクを内蔵、19カ国語を操り、さらに人の顔や感情も認識できる先端技術を持つ。



体験・質問型の理科実験教室「わくわく実験びっくり箱」

Making Science Make Sense, Bayer's hands-on science lessons in Nagano

バイエルの社員が講師や実験アシスタントとなり科学の面白さを伝える活動として、2003年から小学生を対象に毎年行われている「わくわく実験びっくり箱」。楽しい実験を通して「なぜ」「どうして」という、子どもたちに本来備わっている好奇心を高め、科学の理解力向上に役立てることを目的としている。2015年11月5日、長野県・長野市立真島小学校で開講された「わくわく実験びっくり箱」では「NAO」が講師アシスタントとして参加。「～パンの発酵やにんじんロケットに学ぶ～ 身近にひそむ酵素とそのはたらき」がテーマの実験教室で、子どもたちの理科への関心を引くためにナビゲーターとして活躍した。



講師はバイエルの社員が務める。「NAO」の自己紹介では『ようかい体操第一』も披露された。



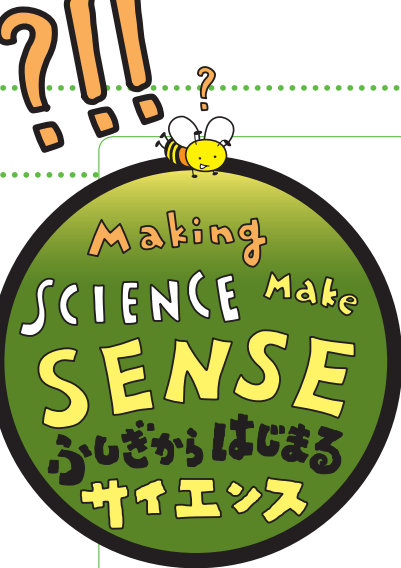
「にんじんロケットの実験」。すりおろしたにんじんとオキシドールをフィルムケースに入れるとケースが高く跳ね上がり、体育館は子どもたちの歓声に包まれた。



「パンの発酵実験」「酵素によるでんぷん消化実験」「酵素とオキシドールの反応実験」などを実施。子どもたちの科学への興味と理解を深め、生活に身近なものを使って楽しく理科実験が行われた。



「わくわく実験びっくり箱2015」訪問した小学校と講師の声は次ページで紹介⇒



わくわく実験びっくり箱2015

～パンの発酵やにんじんロケットに学ぶ～ 身近にひそむ酵素とそのはたらき 長野・山梨・鹿児島 レポート!!

MSMS 2015: Schoolkids in Nagano, Yamanashi and Kagoshima learn about enzymes and fermentation in fun science experiments with everyday items



子どもたちと一緒に生活に身近なものを使って楽しく理科実験

Doing fun science experiments with kids, using everyday items

11月5日 長野県・長野市立真島小学校



坂田和哉

バイエル ホールディング株式会社
インフォメーションテクノロジー

講師

「実験の数が多すぎるかな、と思っていましたが、子どもたちの反応が良く、充実した授業でした。もっと多くの社員にサポートスタッフとして参加してもらい、訪問の回数を増やしてもいいのではないかと思います」



11月11日 山梨県・甲府市立北新小学校



平田裕彦

バイエル薬品株式会社
動物用薬品事業部 / 開発・薬事

講師

「次々とテンポ良く実験を進めていくので、飽きさせないプログラムになっています。広い体育館で実施した『にんじんロケット』は大盛り上がり。バイエルのイベントとしての意義や重要性を実感することもできました」



11月19日 鹿児島県・始良市立竜門小学校



北口智基

バイエル ホールディング株式会社
経営企画

講師

「子どもたちに科学への興味を持ってもらう『わくわく実験びっくり箱』のテーマには非常に共感できました。子どもたちが楽しそうに実験する姿を見て、鹿児島まで行ったかいがあり、大満足の日でした」



子どもたちからは「参加して面白かった!」の感想がたくさん寄せられた

Kids heap praise on MSMS as a fun learning experience

酵素を入れるとパン生地がふくらんだことに驚きました! どうしてだろう?

にんじんとオキシドールでフィルムケースがあれだけ高く飛んだので、ほかのモノにしたらどうなるんだろう?

理科は苦手だったけど、今日の授業は楽しくて理科が好きになりました!

パン生地は1日待っていただけのくらいふくらむのが知りたくなりました!

また機会があれば、ほかの実験をもっとやってみたいです!

「にんじんロケット」は家でやりたいと思いました!

身の回りにあるもので、いろいろなことができるのはスゴイ!

ほかに酵素を含んだものが何かをもっと知りたい!

